

瀬戸内市と連携した公共交通利用促進に伴う赤穂線臨時列車の運行

当社と瀬戸内市は、赤穂線と瀬戸内市営バスを中心とした公共交通の利用促進に連携して取り組みます。その一施策として、赤穂線の臨時列車を運行することとなりましたのでお知らせします。

1. 臨時列車の概要

瀬戸内市が計画を進めている市内公共交通の利用促進策に合わせて、赤穂線で昼間時間帯に運転している「岡山～西大寺駅間」の列車を1日2往復、長船駅まで延伸増便することで市内3駅の乗車機会を増やし利便性向上を図ります。

2. 運行日

2026年3月14日（土）から毎日運転

3. 運転時刻

(上り列車)	岡山	西川原	高島	東岡山	大多羅	西大寺	大富	邑久	長船
	10:08	10:11	10:14	10:19	10:23	10:28	10:32	10:35	(10:39)
	13:23	13:26	13:29	13:33	13:37	13:41	13:45	13:48	(13:52)
(下り列車)	長船	邑久	大富	西大寺	大多羅	東岡山	高島	西川原	岡山
	10:43	10:48	10:51	10:56	11:00	11:05	11:09	11:12	(11:16)
	13:59	14:03	14:05	14:13	14:17	14:24	14:28	14:31	(14:34)

※1 太字が延伸増便部分 ※2 ()は到着時刻

4. その他

瀬戸内市では、今回の列車延伸増便に合わせて、市営バスの増便や経路変更、長船駅前市営駐車場の拡大による利便性向上など公共交通の利用促進策を計画しています。また、JRと接続する市営バスの運賃を一律100円とする取組や、2016年から駅前広場整備（大富駅、邑久駅、長船駅）を進めてこられました。詳しくは瀬戸内市にお問い合わせください。



市営バスの増便・経路変更



長船駅 駐車場拡大



駅前広場整備

今後も瀬戸内市と連携しながら、シームレスな移動の実現や観光客向けの施策なども含めて、公共交通の利用促進に向けた取組みを展開していきます。

今回ご案内の取り組みは、SDGsの17のゴールのうち、特に7番、9番、11番、13番に貢献するものと考えています。



JR西日本グループは持続可能な開発目標(SDGs)を実践しています。



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



11 住み続けられる
まちづくり



13 気候変動に
具体的な対策を